

要 望 書

平成28年4月

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録を推進する議員連盟

百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する府民会議

大阪府市長会・大阪府町村長会

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

文化庁長官 宮田 亮平 様

「百舌鳥・古市古墳群」の平成30年世界文化遺産登録の実現について

「百舌鳥・古市古墳群」は、わが国の古墳時代（3世紀中頃～6世紀後半）を代表する、王とその関係者たちが埋葬された墳墓であり、古代国家形成過程という人類史上の重要な段階に造られた巨大王墓の顕著な事例として、また古墳時代の文化の稀有な物証として顕著な普遍的価値を有しております。

これまで、地元自治体（大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市）を中心に、登録に向けた推薦書素案の作成や機運醸成の取り組みを進めてきたところであります。

推薦書素案作成については、宮内庁と協議を重ね、貴庁の協力を得て、国内外の専門家による助言をいただきながら、海外専門家にとっても理解しやすい推薦内容への精査を行い、3月には、日本語版及び英語版を完成させ、貴庁へ提出させていただきました。

既に本年1月には、資産の周辺環境を保全するため適切な範囲の緩衝地帯を設定し、建築物の高さや形態意匠、屋外広告物等に制限を設ける条例等が施行し、資産および周辺環境の保存管理に努めているところです。

また、地元3市においては、市民による登録応援組織が設立されるとともに、昨年12月には、経済界や文化人、大阪府内全市町村が発起人となり、大阪府をあげた応援組織を設立するなど、地元住民、企業を中心に「百舌鳥・古市古墳群」を未来に引き継いでいこうという機運が盛り上がっております。

「百舌鳥・古市古墳群」について、平成30年の世界文化遺産登録が実現できるよう、下記のとおり要望いたします。

記

1. 「百舌鳥・古市古墳群」について、平成28年度にユネスコへの推薦資産として決定し、平成30年の世界文化遺産登録を実現すること。

平成28年4月8日

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録を推進する議員連盟会長	谷垣 禎一
百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する府民会議会長	尾崎 裕
大阪府市長会会長	田中 誠太
大阪府町村長会会長	松本 昌親
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議会長	松井 一郎